

第3期 西浅井地区地域福祉活動計画

2024年度～2028年度



西浅井地区地域福祉活動計画策定委員会

目 次

1. 計画の概要	p.02
▶西浅井地区地域福祉活動計画とは（計画の背景）	
▶計画の位置づけ	
2. 計画策定に関わる情報	p.03
▶第2期計画期間をふり返って	
▶アンケート調査結果より	
▶福祉懇談会より	
3. 理念と基本目標	p.14
▶理念と基本目標	
▶基本目標1「気軽に話そう！つながりを広げる交流と参画」	
▶基本目標2「ほっとする居場所づくり」	
▶基本目標3「おたがいさまでつなぐほっとする見守り」	
▶基本目標4「気軽なつながりで支える生活支援」	
▶基本目標5「ほっとするつながりで取り組む災害支援」	
▶基本目標6「活動を支える仕組みづくり」	
4. 計画の推進方法	p.16
▶計画の推進方法	
▶計画の推進体制	
5. 計画策定に関わる資料	p.17
▶計画推進に関わる作業概要（日程）	
▶計画推進委員会名簿	

1. 計画の概要

▶西浅井地区地域福祉活動計画とは（計画の背景）

◆地域福祉は次の段階へ

西浅井地区では、平成28年1月に「第1期西浅井地区地域福祉活動計画」を策定し、さらに平成31年3月には「第2期西浅井地区地域福祉活動計画」を策定しました。これに基づき「住民みんなが主役～ふくしのまちづくり西浅井～」を基本理念に様々な活動に取り組み、展開してきました。

しかしながら、この間にも、西浅井地区においても高齢化率が徐々に高まり、ひとり暮らし高齢者や要介護認定者、しょうがい者など、支援を必要とする人が増加してきています。また、隣近所のつながりの希薄化や地域活動の担い手の減少など、これまでの計画から継続して取り組む必要性があります。

また一方で、新型コロナウイルスの影響などから、生活に困窮している方、ひきこもりなど、地域の中で孤立してしまっている人の課題など、新たな課題も浮かび上がり、国を挙げた「地域共生社会」の推進を図っているところです。

このようなことから、地域福祉をさらに発展的に推進し、かつ新たな課題への対応を図っていくために「第3期西浅井地区地域福祉活動計画（以下、「第3期計画」という。）」を策定します。

▶計画の位置づけ

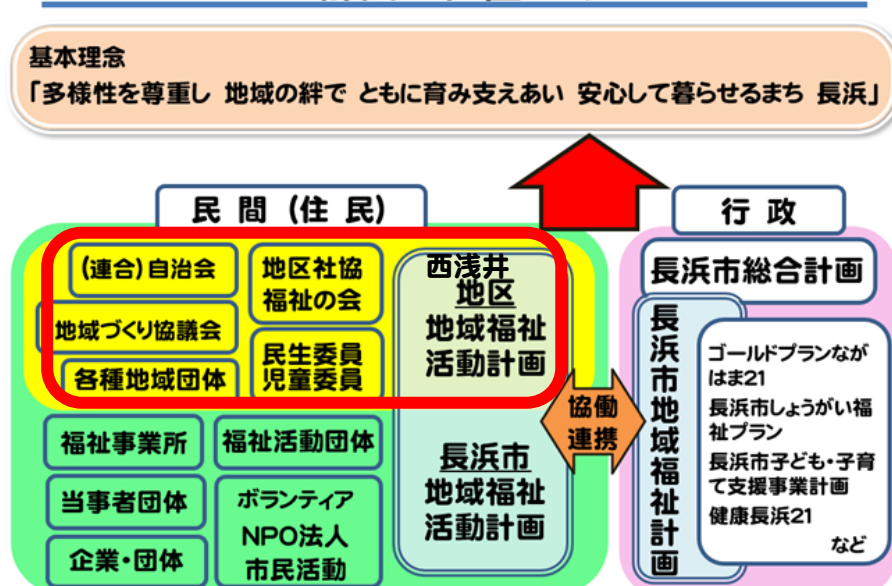
◆長浜市社会福祉協議会、長浜市との連携

西浅井地区地域福祉活動計画は長浜市地域福祉活動計画の理念「多様性を尊重し、地域の絆とともに育み支えあい安心して暮らせるまち長浜」の考え方と連動し「住民参加」による活動・実践と行政や関係機関・団体との「協働」を図りながら、福祉課題の解決を目指し、「住民主体による福祉のまちづくり」を進める計画です。

「長浜市地域福祉活動計画」と一体的に策定することで、市、地区のエリアによる活動メリットを最大限活かせる活動展開を計画します。

また、長浜市が策定する行政の地域福祉に対する施策計画である「長浜市地域福祉計画」と連携・協働し、公民協働による地域福祉を推進します。

計画の位置づけ



2. 計画策定に関わる情報

▶第2期計画期間を振り返って

西浅井地区では、平成31年に第2期計画を策定し、「住民みんなが主役～ふくしのまちづくり西浅井」をスローガンとし、3つの基本目標に沿って、子どもから高齢者まで様々な世代の地域福祉に関する取り組みを進めてきました。

◆基本目標① ほっとする 交流を深める

住民同士の交流の機会づくりを推進し、つながりが深まるよう取り組みを進めてきました。第2期計画がスタートしてすぐに、新型コロナウイルスが蔓延し、感染拡大防止に伴い、地域活動の自粛を求められ、地域交流の機会はすべて休止状態の時期もありました。

しかし、敬老のつどい、子育て広場、一人暮らし高齢者のつどいは参加者数を減らし、開催回数の縮小など、開催方法に工夫を凝らし地域交流の機会を継続して取り組むことができました。にしあざい縁日は2019年度より休止状態となりましたが、計画の最終年度に開催することができ、4年ぶりの地域交流を楽しんでいただくことができました。

◆基本目標② ホッとする 居場所づくり

自治会単位で開催されるサロン活動、転倒予防教室、フレイル予防の推進と活動への支援を行い、地域住民が安心して集える居場所の継続に努めました。サロンスタッフ交流会を開催し、コロナ禍における開催方法や取り組みのアイデアについて情報共有を行い、サロン活動の拡充を図りました。

しかし、コロナ禍の活動自粛の影響は大きく、参加者、スタッフの高齢化により活動継続が難しくなり、解散したサロンもあります。一旦休止した活動の復活は難しく、今後も活動継続に向け支援が必要です。

趣味や特技を活かした場づくりとして、高齢者の料理教室は開催することができましたが、新たな世代やエリアへの場づくりへの着手はできませんでした。新たな居場所の立ち上げを支援し、より豊かな地域の居場所づくりを目指すことが必要と考えられます。

新たな取り組みとして、子育てカフェをオープンし、子育て世代の居場所づくりに取り組みました。少子化に歯止めがかからない西浅井地域において、安心して子育てができる地域環境が必要です。

◆基本目標③ HOTする 見守り・支えあい活動

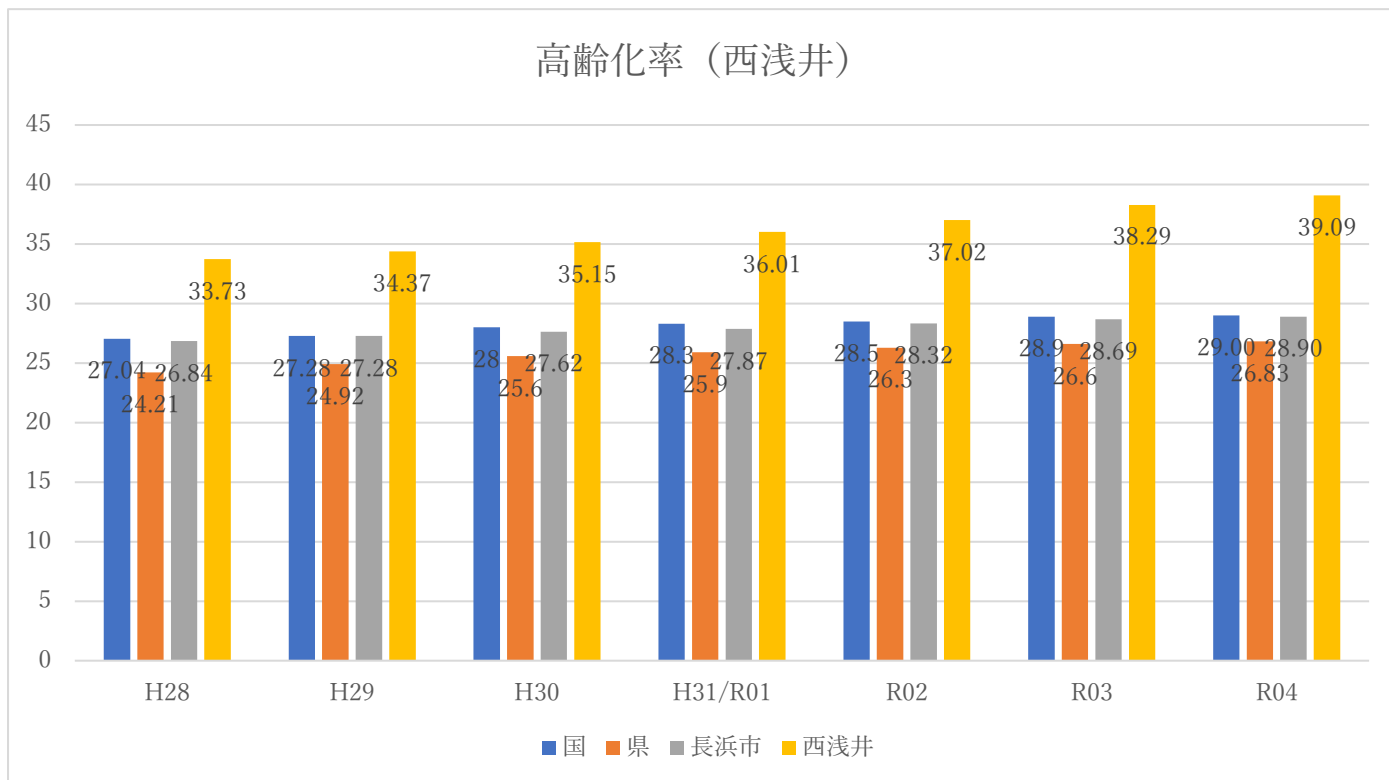
生活支援団体「スマイルサポート西浅井」、自治会、各種団体との連携のなかで、住民のニーズに合わせた活動を実施することができました。しかし、コロナ禍により買い物ツアーの休止からいまだ活動が再開できていない、高齢者が年々増加しているにも関わらず相談があがってこない、新たなサポーターの加入がないなどの課題があげられます。

活動の中で、浮き彫りになる様々な困りごとを地域課題として捉え、地域で解決方法を検討する「暮らしの支えあい検討会」を開催し、専門職とも連携しながら課題の共有や取り組みの検討を実施しました。「暮らしの支えあい新聞」を発行、全戸配布し、検討会の取り組みについて周知を行いました。

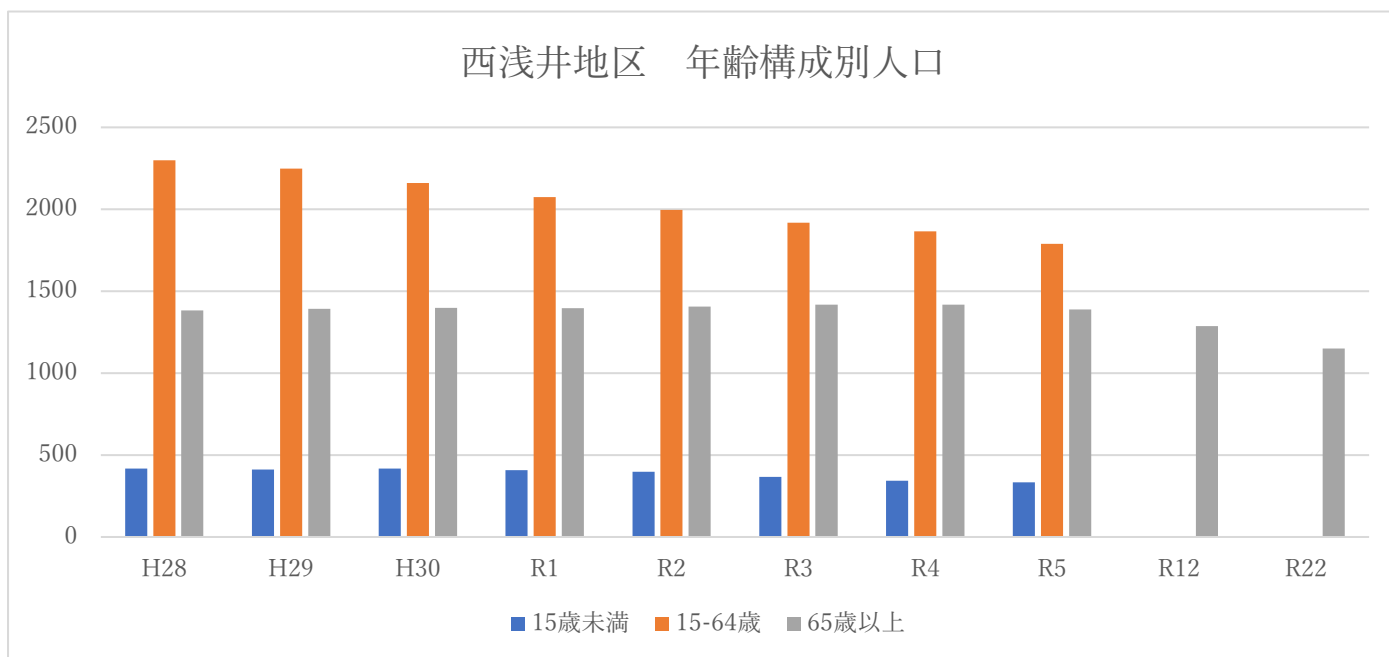
見守り活動の推進として、毎年全自治会を対象に見守り研修を実施し、防災・福祉マップを更新し、自治会の見守り活動に取り組む情報を共有することができました。また、各自治会から福祉委員を選出していただき、見守り活動の取り組み体制を整えることができました。

▶西浅井地区の福祉データ

◆高齢化率

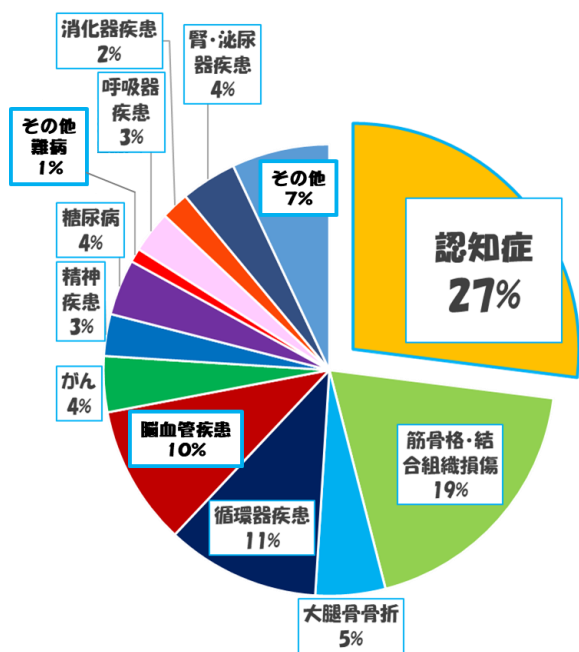


◆年齢構成別人口

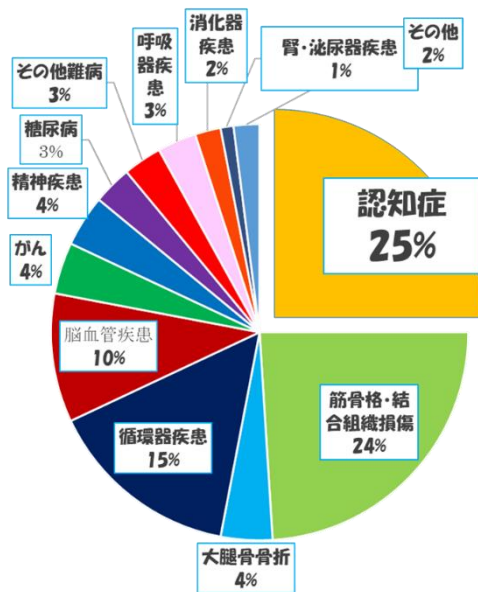


※年少人口、生産年齢人口は年々減少し、高齢化率は着実に高くなっています。

◆65歳以上の要介護認定者の原因疾患別割合



西浅井



市全体

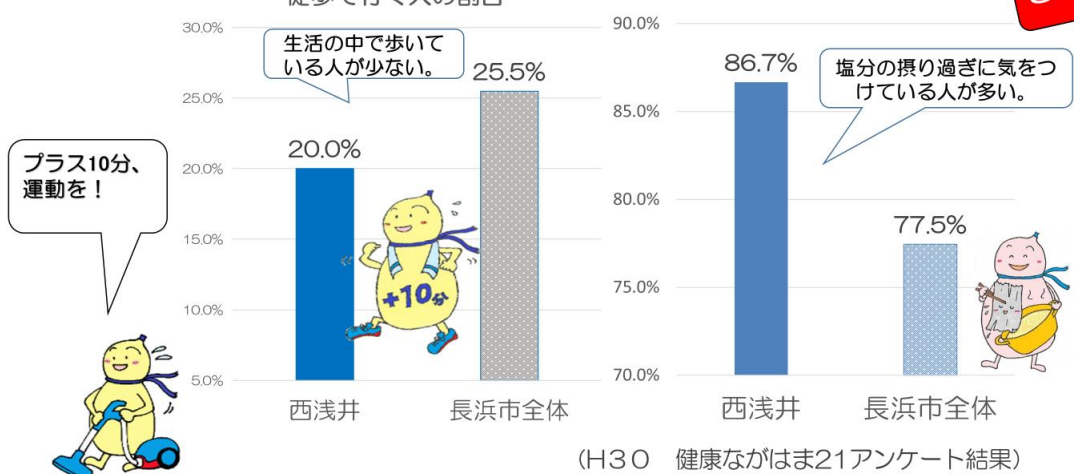
◆生活習慣病予防

生活習慣病予防をしましょう



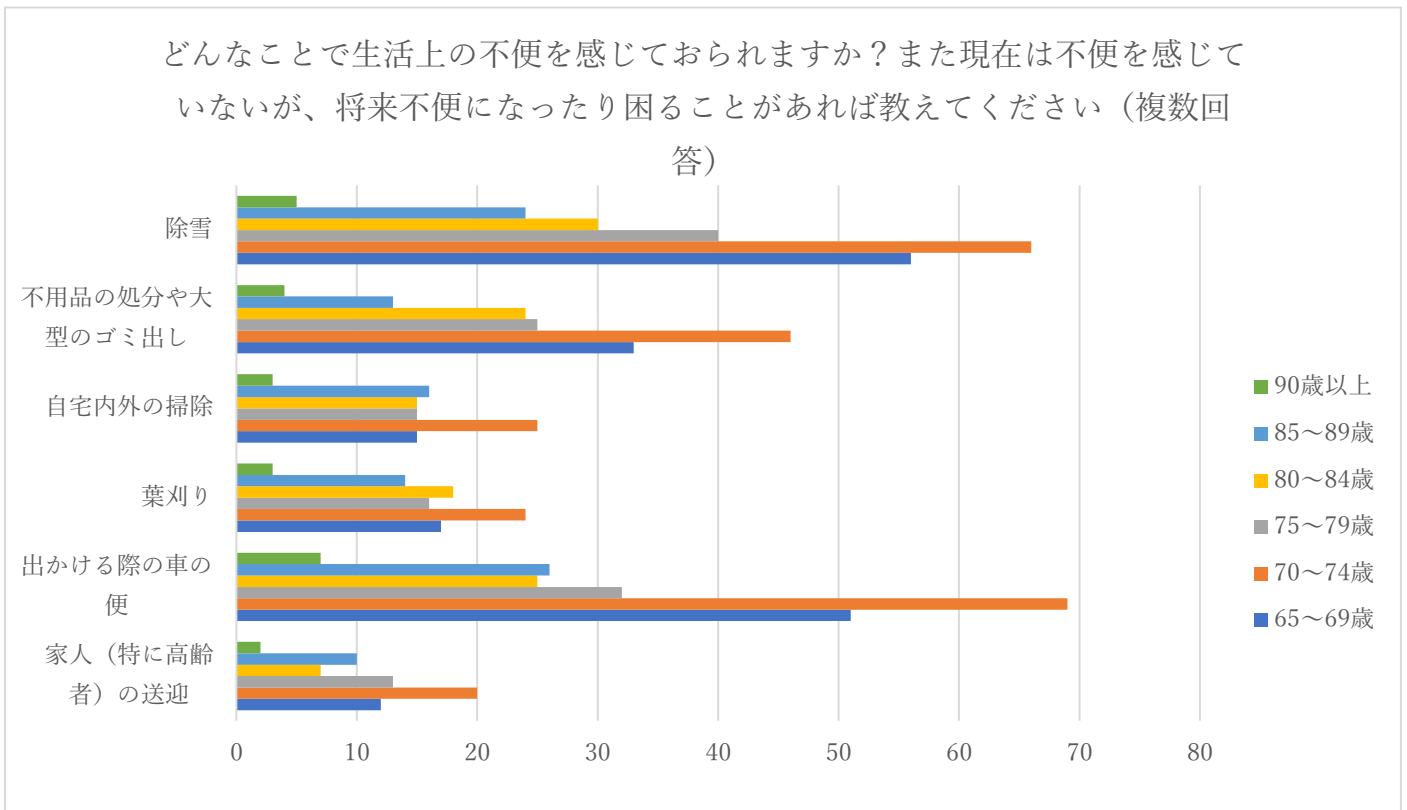
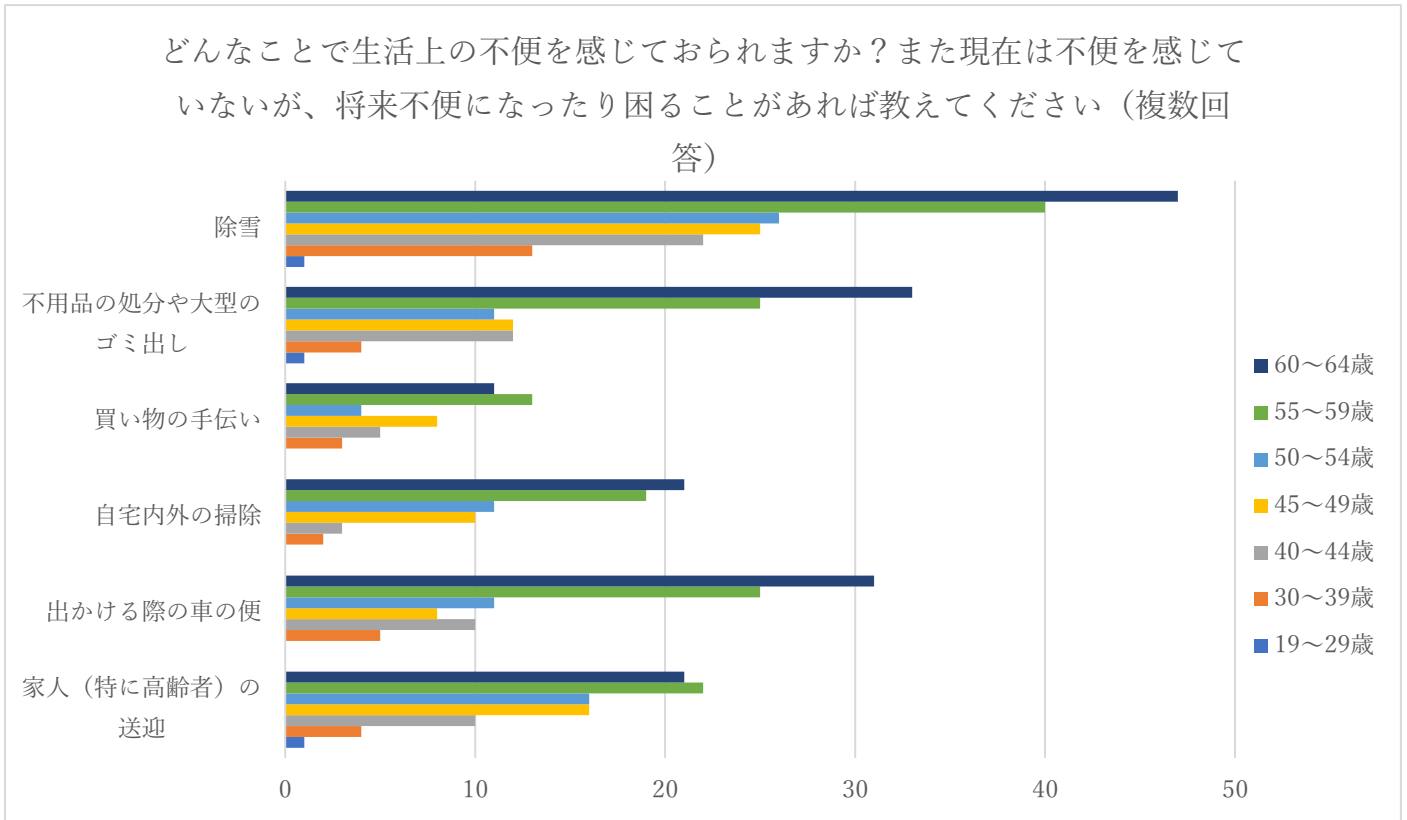
徒歩10分でいけるところへ
徒歩で行く人の割合

塩分の摂り過ぎに
気をつけている人の割合

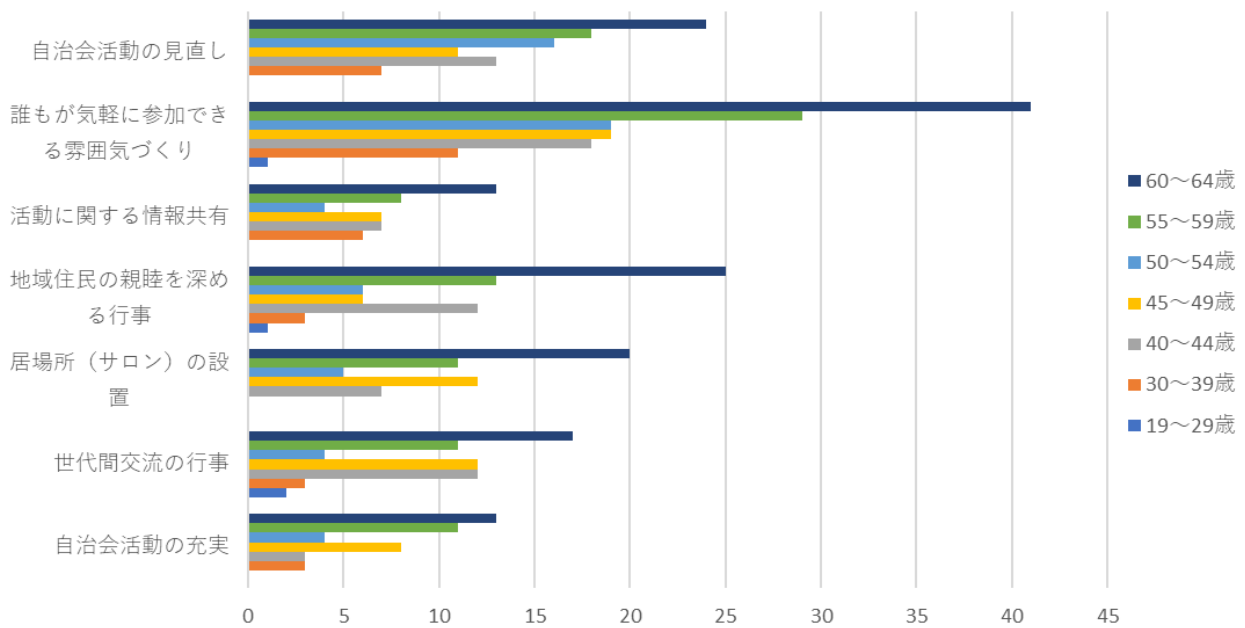


(H30 健康ながはま21アンケート結果)

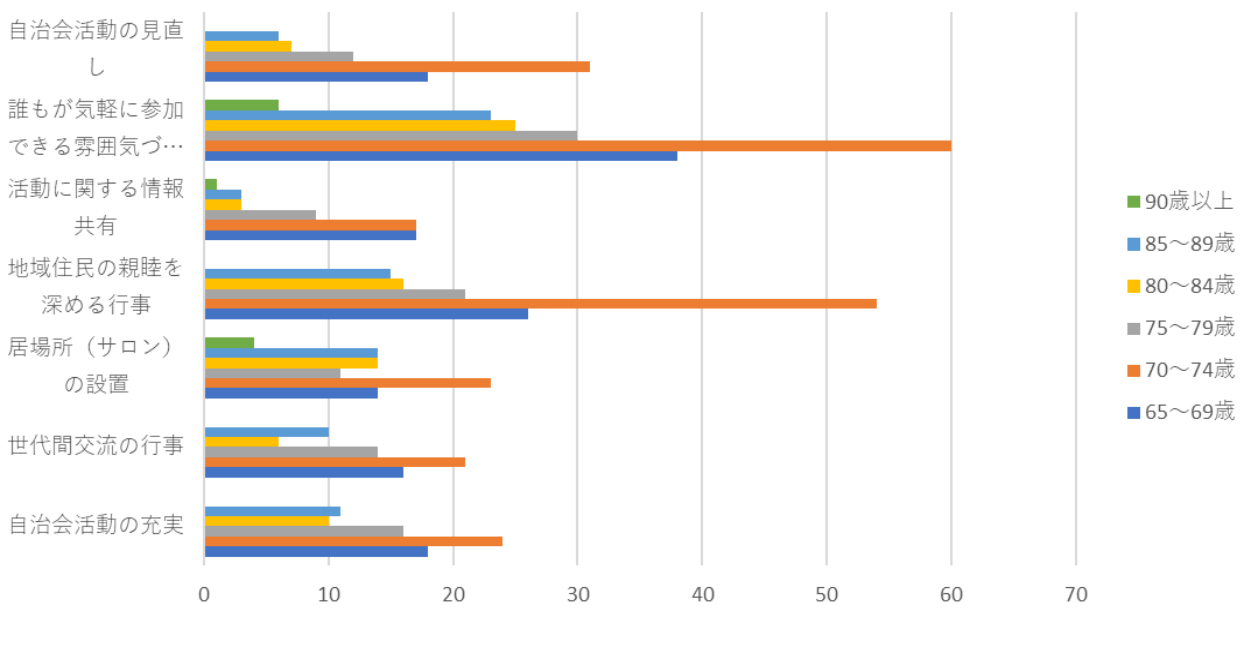
▶西浅井地区アンケート調査結果



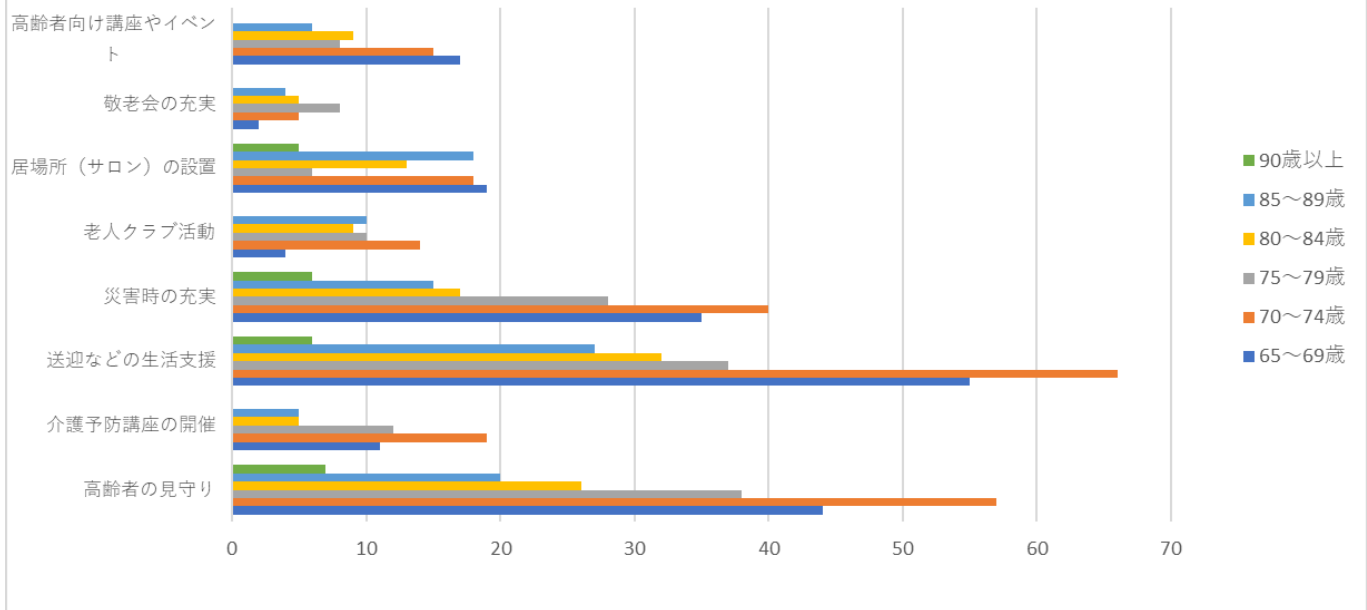
地域のつながりやコミュニティを守るために取り組むといいことは？
(複数選択)



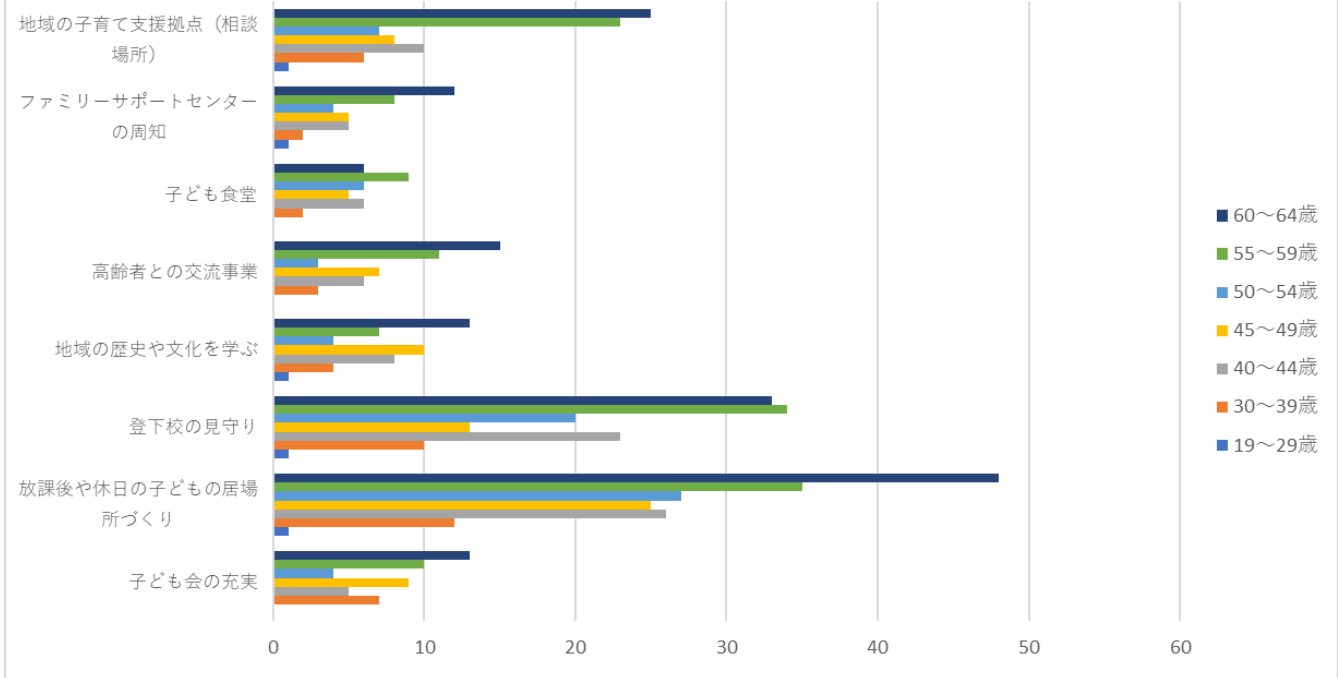
地域のつながりやコミュニティを守るために取り組むといいことは？
(複数選択)



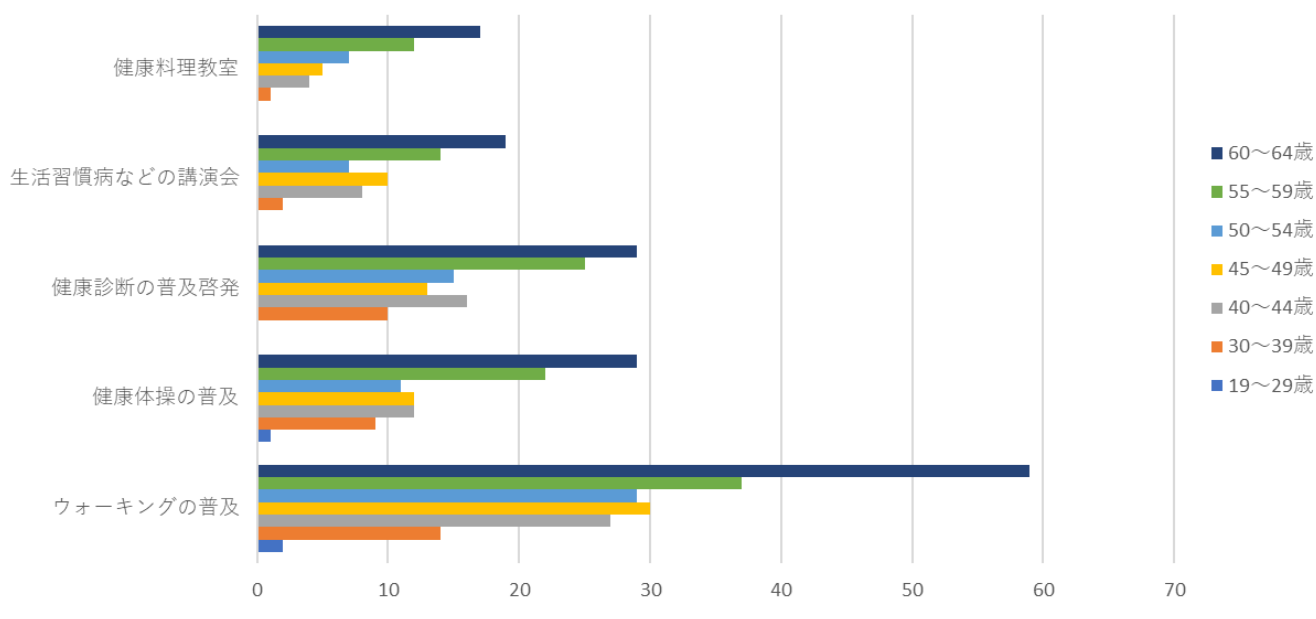
高齢者が安心して暮らすために取り組むといいことは？（複数選択）



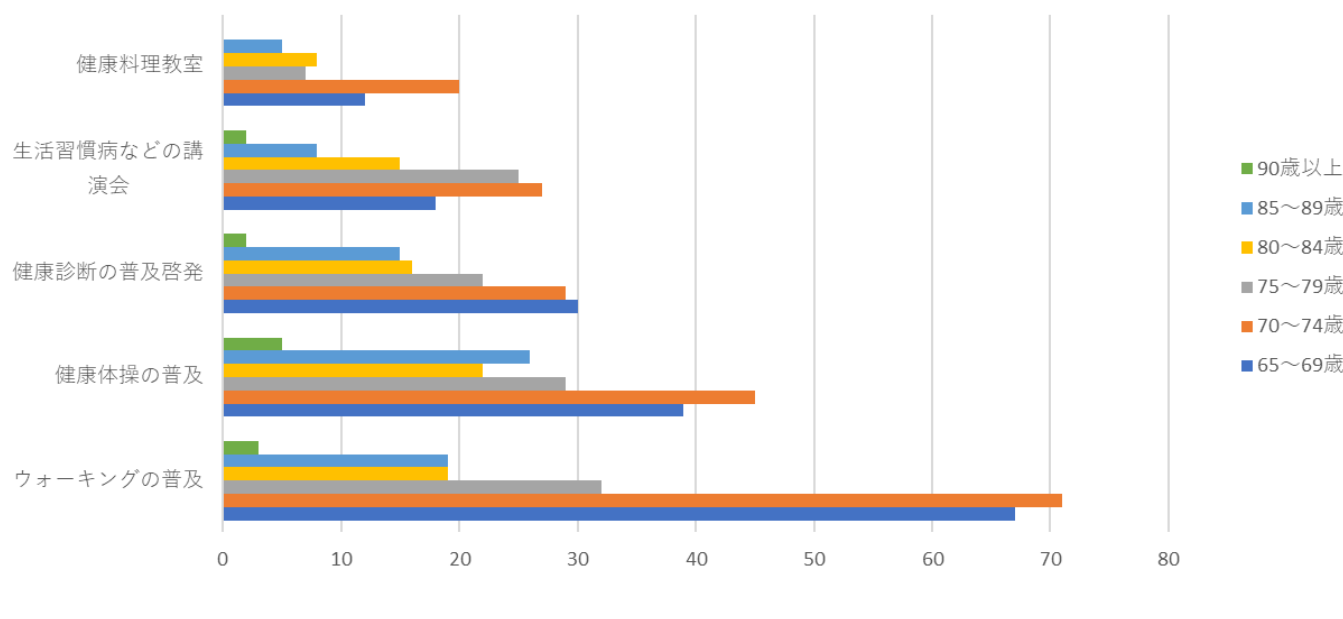
子どもの育成のために取り組むといいことは？（複数選択）



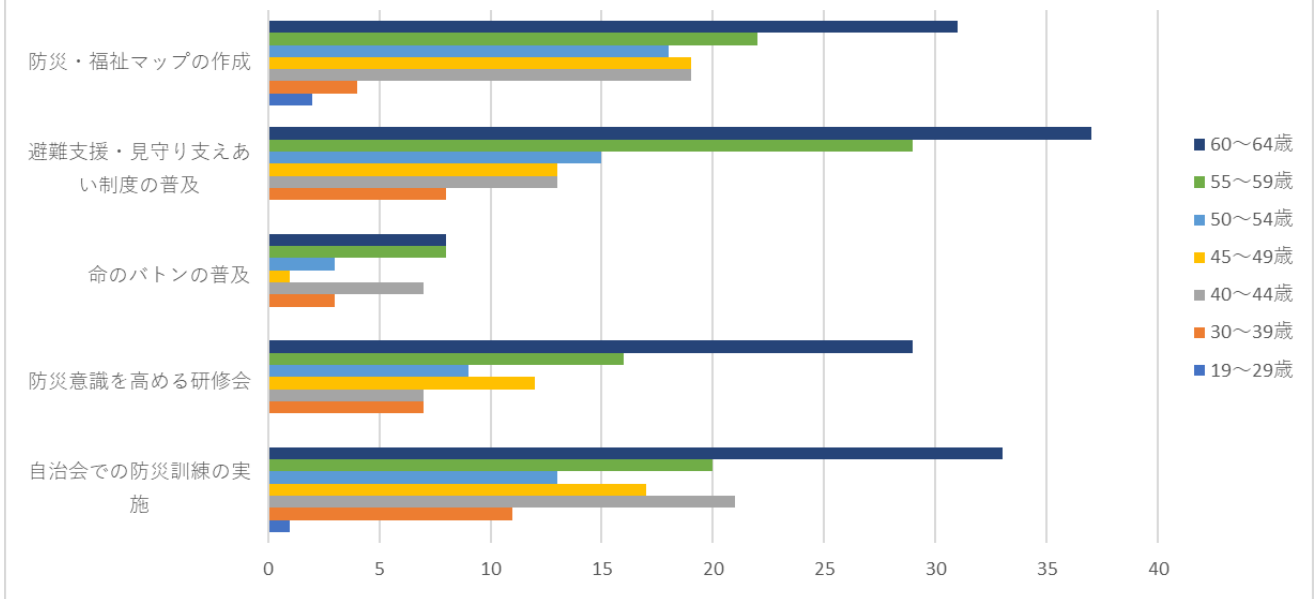
健康のために取り組むといいと思われることは？（複数回答）



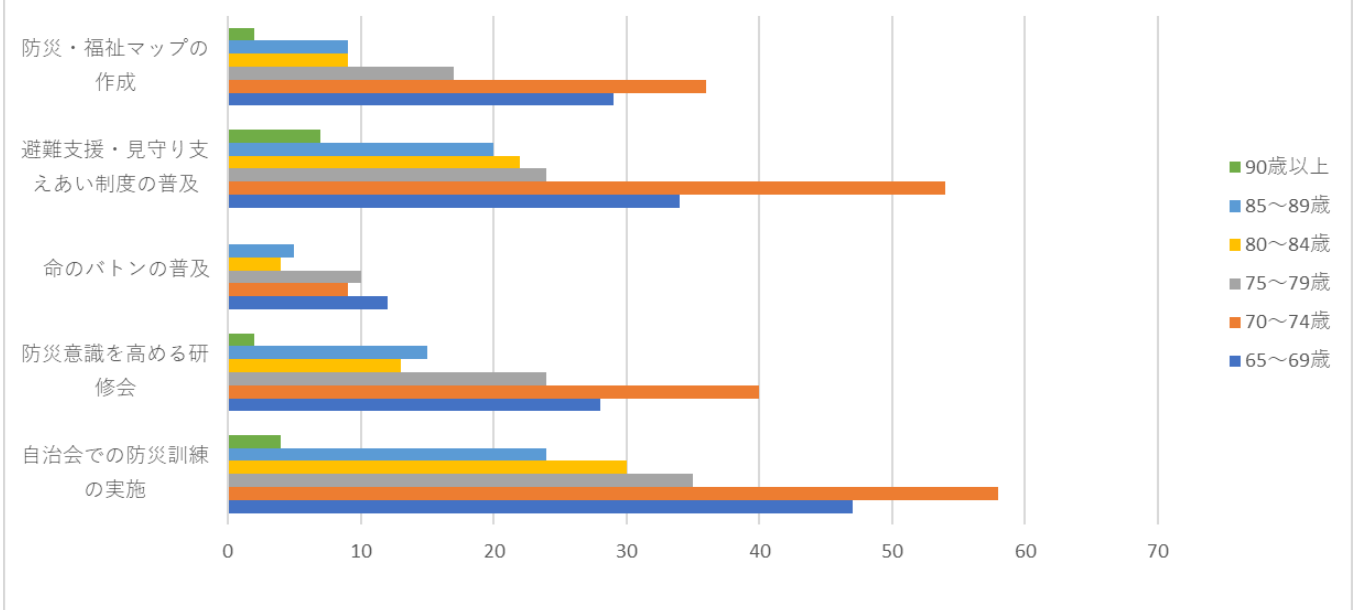
健康のために取り組むといいと思われることは？（複数回答）



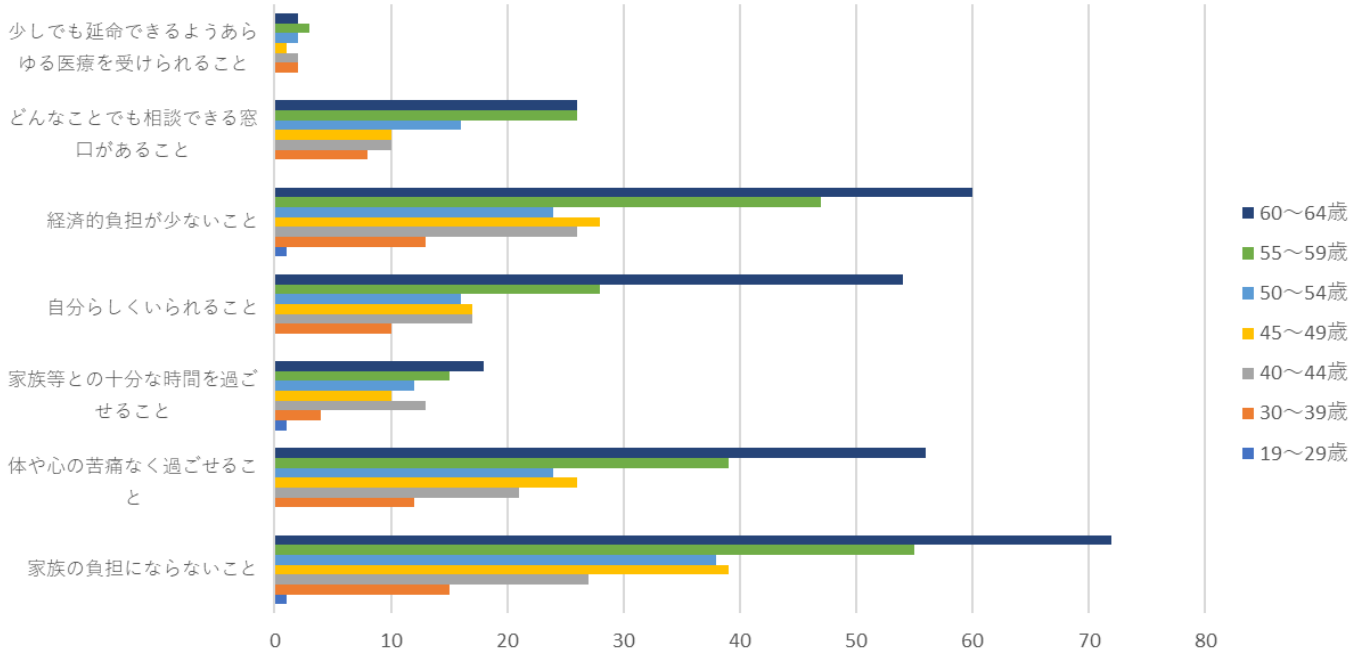
災害から地域を守るために取り組むといいことは？（複数回答）



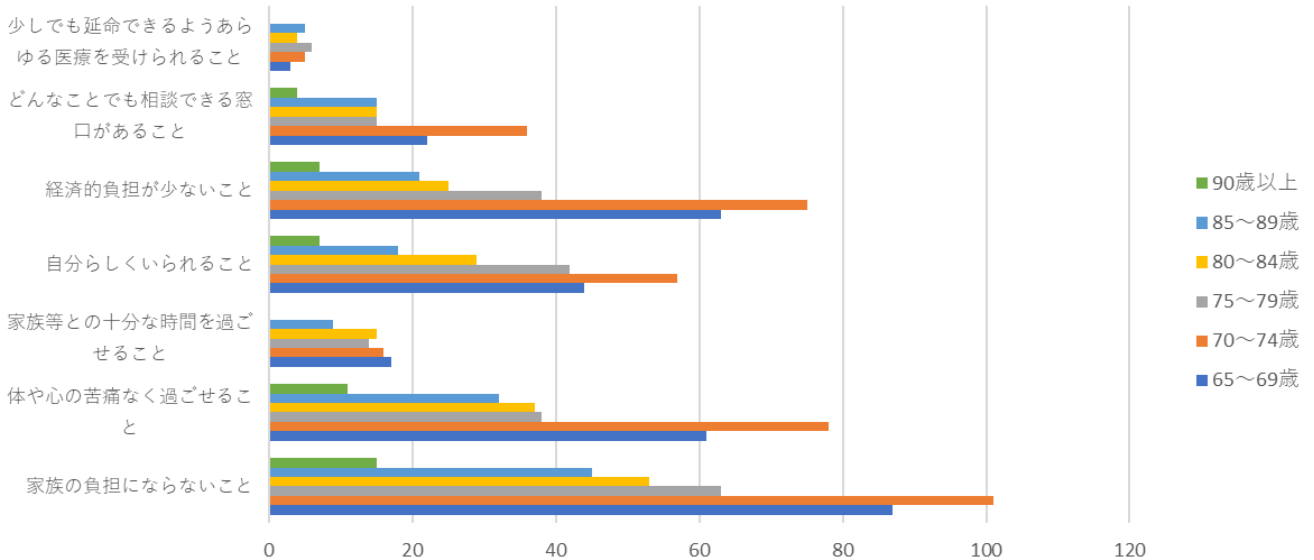
災害から地域を守るために取り組むといいことは？（複数回答）



人生の最後をどんなふうに迎えたいか考える際に、あなたにとって重要だと思えることはなんですか？（複数回答）



人生の最後をどんなふうに迎えたいか考える際に、あなたにとって重要だと思えることはなんですか？（複数回答）



▶福祉懇談会より

令和5年10月に福祉懇談会を開催し、地域のさまざまな世代による意見交換会を行いました。西浅井の現状、課題、地域で取り組みたいことを子ども、若者、高齢者の視点から考え、個人、自治会、地域の3段階の規模で今後どのような取り組みが必要かについて検討した結果、下記のような意見がまとめられました。

1) 開催日時：令和5年10月16日（月）19：00～20：30

2) 出席者：西浅井ふくしの会 西浅井地区地域づくり協議会 民生委員児童委員協議会
永原小学校PTA 老人クラブ スマイルサポート西浅井

3) テーマ

◆子どもの居場所・ママの悩みと居場所

西浅井地区の未就園児は年々減っていき、令和5年度は16人（10月現在）しかいません。コロナ禍以前から子ども同士、保護者同士の交流の場が少なかったが、コロナ禍で、ますます減ってしまいました。地域の宝と謳われる子どもを西浅井の地で生んで育てていく。安心して子育てができる地域づくりが過疎化に歯止めをかける一つの要素であると考えます。

小さな地域だからこそその交流の場をつくることによって、少子化の中での同じ子育ての悩みを持つほかの親とつながり、情報交換やお互いの支えになることができます。また、子どもたちも一緒に交流することで遊びながら成長し、社会性やコミュニケーション能力を身につけることができます。

また、小学生、中学生が中心となって地域活動を企画し、地域交流の楽しさを感じ、地域の魅力を再発見する、このような体験を重ねていくことが大切だと考えます。

◆30代、40代、50代の思うこと

地域の中で一番活躍する世代が、地域づくりの中で置き去りにになっているのではないかと。自治会活動で若者たちが活発に動いてくれるとの意見がある一方で、決められたことをするだけの自治会活動やつながりが嫌で西浅井から出て行ってしまおう。土地を守るための義務感で西浅井にいる。このような現状と課題がでてきました。

やはり活動は楽しさがないと長くは続いていかない、その場へ参加したいとも思わないと考えます。

・若い世代だけが集まって活動できる場づくり、その中で自分の趣味をいかした仲間づくりと交流。

・オンラインツールやプラットフォームを活用し、リモートワーカーとのコミュニケーションでの地域の魅力発信。

課題からの地域づくりではなく、自分たちが楽しめる地域づくりを推進していきます。

◆高齢者の生きがい～支えられる側から支える側へ～

高齢者の生きがいとは、畑仕事、地域サロン、体操教室、グランドゴルフ、ゲートボールという意見がでてきました。このような場に参加するときには、身だしなみを整え、家事を段取り良くすませるなど生活の中に張り合いが生まれ自然と気分が上がります。しかし、コロナ禍によって活動が自粛されたことにより、今までどおりの活動が難しくなりました。また、その人によって「居場所」「生きがい」は、人それぞれで、一つには当てはまりません。

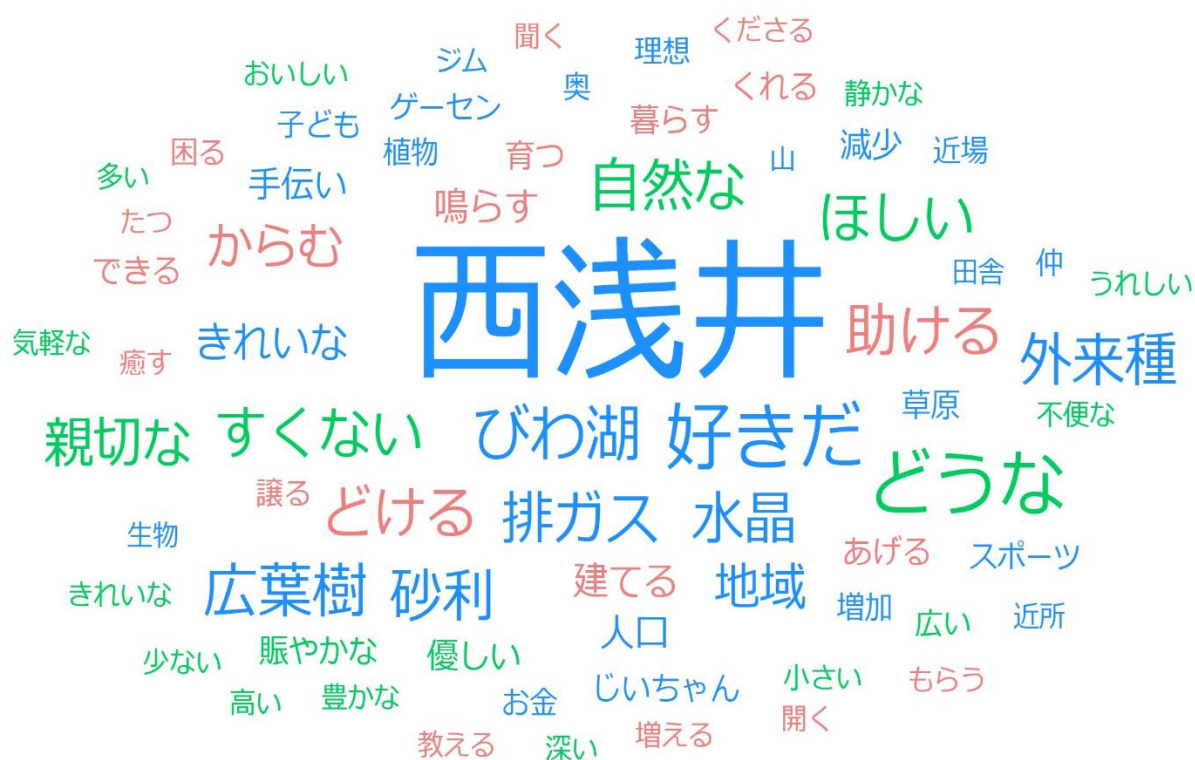
小さな集まりでもいいので、好きなことで集まれるサークルが多くできるといい。そのサークルの中で自分の得意を披露出来たら、最高の生きがいづくりではないか！支える側にまだまだこれからできる！このような発信が必要であると思われます。

▶西浅井中学校へのヒアリング

3期の計画を策定するにあたり、計画期間の最終年度に（5年後）20歳になる中学生に、西浅井地域に対する思いを語っていただきました。今後の地域づくりには欠かせない視点が多くみられました。

日時：令和5年6月9日（金）16：00～17：00

参加者：西浅井中学校生徒会



西浅井について感じている事、「田舎の不便さもあるけれど人が優しい西浅井が好き」希薄になる地域のつながりといわれていますが、中学生のみなさんは地域の方々とのつながりはまだまだあると日常の生活の中で感じていることがわかります。この思いは地域の大切な宝物です。

3. 理念と基本目標

▶理念と基本目標

1) 基本理念

第3期計画は、「住み続けたい ほっとするふるさと西浅井～地域の魅力再発見～」を新たなスローガンとし、奥びわこ西浅井の魅力を活かし、次の世代へ伝え、住民参加による地域福祉を推進します。

2) 基本目標

第2期計画では、西浅井地区内の地域福祉を3つの基本目標に整理することで、活動の充実・発展を目指してきました。第3期計画においては、引き続き第2期計画の活動と新たな社会情勢に合わせた活動を盛り込んだ中身とすることで、さらなる活動の推進を計ります。

▶基本目標1「気軽に話そう！つながりを広げる交流と参加」

地域対話（コミュニケーション）やつながりを広げる地域づくりを促進します
お互いに認めあい思いやりのある地域づくりを推進します

- ・取組内容：ふれあい花壇 一言ふれあい運動 あいさつ運動 文化・スポーツサークルの育成
にしあざい縁日 ふれあい料理教室 敬老のつどい 文化祭 まちせん縁日
健康マラソン にぎわいテント村 世代間交流 （新）西浅井チャレンジ教室

▶基本目標2「ほっとする居場所づくり」

身近で気軽な地域の居場所づくりを推進します
趣味や特技を活かした居場所づくりを推進します
子どもから高齢者まで交流できる居場所づくりを推進します

- ・取組内容：各地区でのサロン・転倒予防教室 まちづくりセンター講座
子育て広場 サロンスタッフ交流会 ぶらっと、ゆるりの有効活用

▶基本目標3「お互いさまでつなぐほっとする見守り」

防災福祉マップ作りや避難支援見守り支えあい制度を推進します

- ・取組内容：各自治会での見守り会議 放課後児童クラブ 健康づくり
一人暮らし高齢者・寝たきり高齢者等の友愛訪問
しょうがい児クリスマス訪問 社会を明るくする運動 青少年育成事業

▶基本目標4「気楽なつながりで支える生活支援」

西浅井でいつまでも暮らせる生活支援活動を推進します
相談窓口の周知・機能を充実します

- ・取組内容：スマイルサポート西浅井の運営・周知活動 JAによる買い物支援
スマイルサポート西浅井と他の生活支援団体との交流
民生委員児童委員と連携した相談窓口の充実

▶基本目標5「ほっとするつながりで取り組む災害支援」

災害時を想定した地域の支えあい体制を推進します

- 取組内容：地域防災の啓発 見守り研修会 災害募金活動

▶基本目標6「活動を支えるしくみづくり」

福祉活動団体の基盤を強化します

福祉活動団体のネットワーク、協働体制を推進します

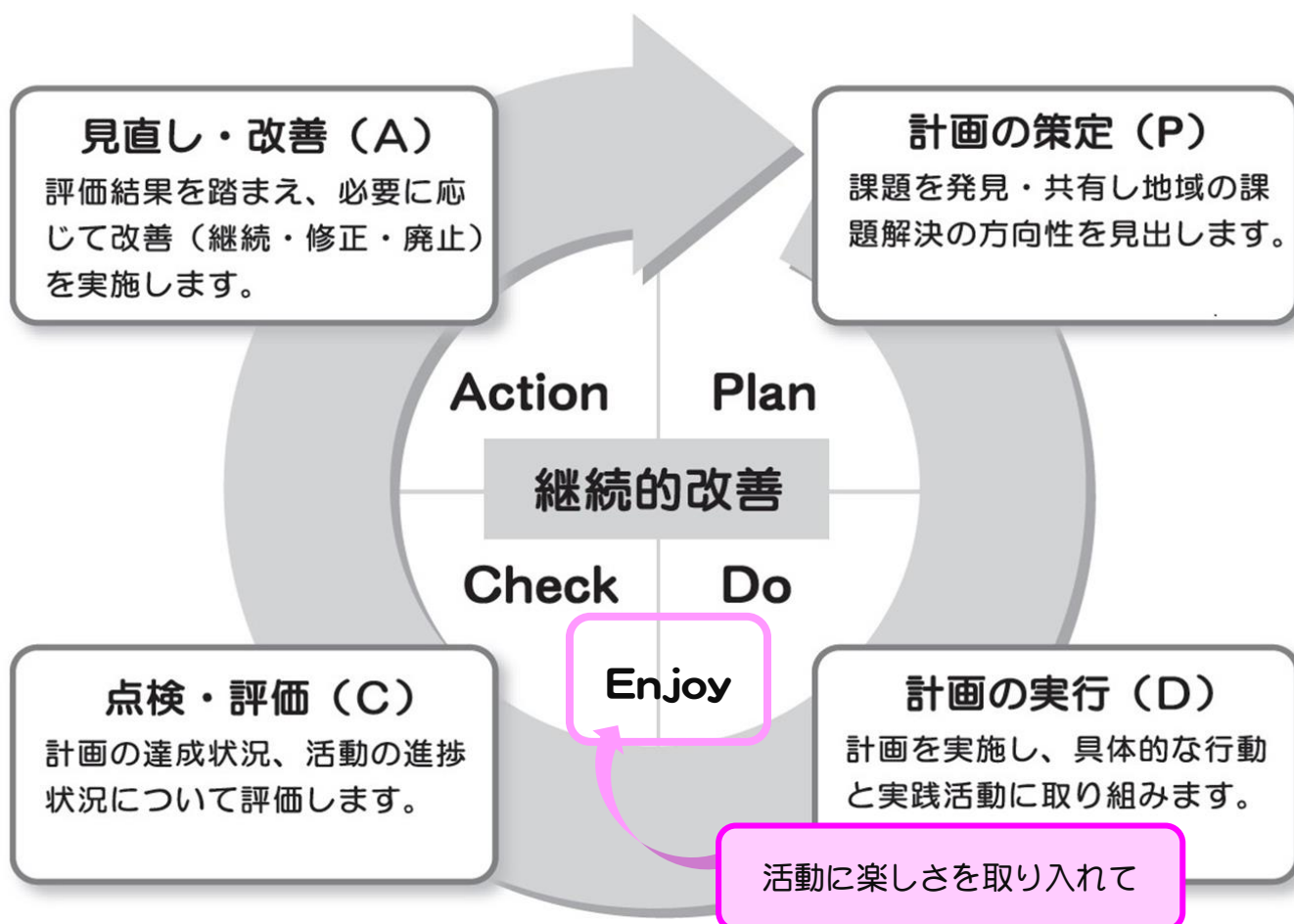
- 取組内容：福祉懇談会 広報啓発活動 びわ湖のてっぺんプロジェクト 子育て支援活動助成
暮らしの支えあい検討会 他団体との交流

4. 計画の推進方法

▶計画の推進方法

計画の進捗状況や達成度を定期的に把握、評価し、必要に応じて適宜見直しをおこない、よりよい活動や取り組みを推進する PDECA サイクルに沿って、計画の目標達成に向けた進捗管理に努めます。

より良い活動や取り組みを推進する PDCA サイクルに「E(Enjoy)楽しむ」の要素を盛り込み、地域住民が楽しさを感じながら無理なく地域福祉活動の推進に取り組める体制を整えます。



▶計画の推進体制

西浅井ふくしの会を中心に、各団体と連携しながら定期的な活動の推進や進捗管理に取り組みます。

5. 計画策定に関わる情報

▶計画推進に関わる作業概要（日程）

1) 策定体制

西浅井地区地域づくり協議会、連合自治会、西浅井地区民生委員児童委員協議会、スマイルサポート西浅井、各種活動団体、西浅井ふくしの会により策定を行いました。

会議名	実施日	内容
第1回策定委員会	令和5年4月24日	■第2期計画ふり返り ■第3期プランについて説明 ・基本理念と基本目標について ・策定体制、手法について ・策定スケジュールについて ・アンケートの結果について
第2回策定委員会	令和5年6月26日	■アンケートの結果について ■基本目標について ■福祉懇談会について
コアメンバー会議	令和5年10月5日	■基本理念と基本目標について ■計画素案について
福祉懇談会	令和5年10月16日	■テーマ別グループワーク
三役会	令和5年11月27日	■計画素案について
第3回策定委員会	令和5年12月6日	■計画素案について
三役会	令和6年2月6日	■ダイジェスト版について
三役会	令和6年3月12日	■ダイジェスト版について
三役会	令和6年3月18日	■ダイジェスト版について

2) 策定手法

■データ分析

各専門職より参考データを提供いただき、各分野のデータ分析を行いました。
また人口動態など基本データを使用することで現在の地域状況を確認しました。

■アンケート調査

地域住民を対象とした地域福祉に関する意向などを把握することを目的としたアンケート調査を行いました。

■福祉懇談会の開催

福祉懇談会を開催し、地域福祉活動の振り返りや新たなニーズ、今後の展望等について話し合いました。

▶西浅井地区地域福祉活動計画推進委員会名簿

(敬称略)

氏名	団体	備考
栢割 孝一	西浅井ふくしの会	委員長
田中 誠一	西浅井ふくしの会	
宮川 千代子	西浅井ふくしの会	副委員長
山口 正之	西浅井地区地域づくり協議会	
河原林 繁	西浅井地区地域づくり協議会	
平塚 久子	西浅井地区地域づくり協議会	
安原 秀男	西浅井民生委員児童委員協議会	副委員長
岡川 和昭	西浅井民生委員児童委員協議会	
司馬 祐美	西浅井民生委員児童委員協議会	
平塚 公二	西浅井民生委員児童委員協議会	
和藏 順人	西浅井民生委員児童委員協議会	
大谷 景子	西浅井民生委員児童委員協議会	
岩佐 達己	スマイルサポート西浅井	
坂井 元嗣	スマイルサポート西浅井	
松井 徹	スマイルサポート西浅井	
沢田 護	西浅井地区連合自治会長	
熊谷 みよ子	西浅井赤十字奉仕団	
田中 美恵子	更生保護女性会西浅井分区	
窪田 亮二	長浜市老人クラブ連合会西浅井支部	
田中 将義	西浅井中学校 PTA 会長	
赤坂 太司	永原小学校 PTA 会長	
熊谷 理美	わけわけ Deli 地元活動団体	
清水 広行	RICE IS COMEDY 地元活動団体	
大谷 耕平	RICE IS COMEDY 地元活動団体	
壺坂 宣也	地域おこし協力隊	
隅田 あおい	星の馬 WORKS 地元活動団体	